

現状と課題

<現状>

●がん検診の受診状況

・本県のがん検診受診率は概ね向上しており、5大がんのうち、胃がん、大腸がん、肺がん及び子宮頸がんは全国平均を上回っている。

●がんによる死亡率

・本県の人口10万対のがんによる75歳未満年齢調整死亡率は全国平均を上回っている。(R3 本県86.9 全国67.4)

<課題>

●がんの一次予防

・運動の推進や食生活の改善などの生活習慣の改善等に取り組むとともに、令和5年3月に施行した青森県受動喫煙防止条例の内容を県民に周知し、受動喫煙を含む喫煙対策に積極的に取り組んでいくことが重要である。

●がんの二次予防

・早期発見・早期治療のためのがん検診の促進やその精度管理の向上に取り組むほか、定期的ながん検診受診の重要性を県民に引き続き強く働きかけていくことが重要である。
・5大がんのうち、検診受診率が全国を下回る乳がんや、子宮頸がんの女性特有がんについては、特に、受診率の向上に取り組む必要がある。

●がん医療の提供体制

・広い県土を有する本県において、各保健医療圏で標準的ながん医療を受けられる体制整備と、地域連携による全県的な診療水準の向上が必要である。

●がんとの共生

・がん患者やその家族に対する必要な相談支援の提供や正確な情報の伝達が重要である。

施策の方向性

(1) 本計画と健康あおもり21（第3次）と整合性のとれたがんの一次予防対策の推進

- ・健康づくりのための生活習慣の改善
- ・受動喫煙を含む喫煙対策の周知・啓発

(2) がん検診受診率等の向上

- ・国の第4期がん対策推進基本計画で目標として掲げる検診受診率60%の達成に向けた取組の強化
- ・市町村における精密検査受診率の向上を図るための県からの適切な助言等

(3) がん医療の標準化

- ・全保健医療圏に国が指定するがん診療連携病院等の整備
- ・がん医療に従事する専門的ながん診療に関わる医療従事者の養成に係る取組の支援

(4) がん相談支援センターの認知度向上及び理解促進

- ・がん相談支援に係る研修会への参加の支援
- ・相談支援の一層の充実を図るため、患者団体等を活用した仕組みづくり